

# 鳥取県庁舎耐震補強整備事業の概要



鳥取県庁舎は耐震補強により  
地震に強い建物に生まれ変わります

## 鳥取県庁舎の耐震安全性の現状

- 耐震診断の結果、**本庁舎**及び**講堂・議会棟・議会棟別館**は耐震安全性に問題があり、特に**本庁舎**は大規模な地震が発生した場合、倒壊を含む大規模な損傷を受ける可能性が高いことが判明しています。

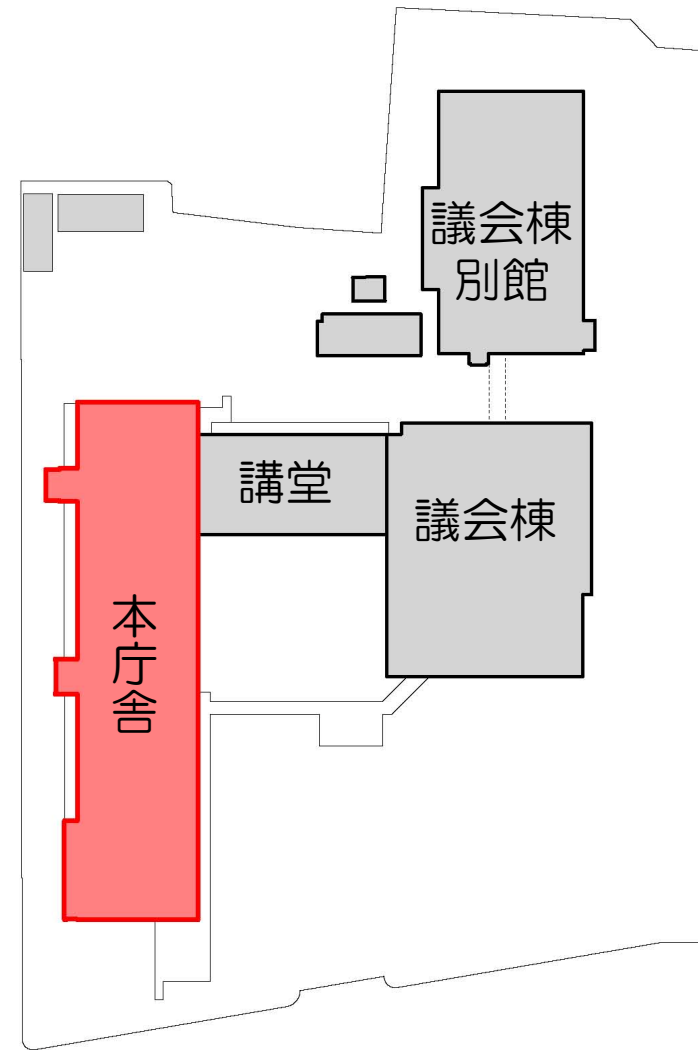


- **本庁舎**、**講堂・議会棟**及び**議会棟別館**それぞれの建築的特性や機能的特性を考慮し、最適な耐震補強の工法を採用して地震に強い建物に改修します。

### ■本庁舎

免震レトロフィット  
(免震工法) による  
耐震補強を行います。

免震レトロフィット補強は既存建物の使用を続けながら建物下部に免震装置を設置し地震の揺れを低減し、耐震安全性を確保します。  
建物内部での工事はほとんど発生しないため、工事期間中も継続して県民サービスを提供できます。



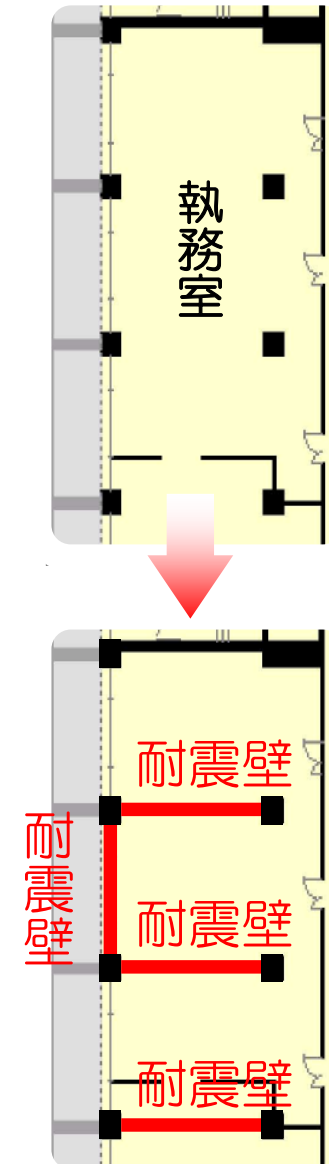
## 別工法での検討結果

### ■本庁舎

従来の工法で耐震性を確保しようとする...

本庁舎を従来の工法で耐震性を確保しようとする、新たに約300箇所（各階40～50箇所）の耐震壁を設置する必要があります。

工事中は執務室の移転が必要で、完成後も執務室が寸断され非常に使いにくい建物となります。

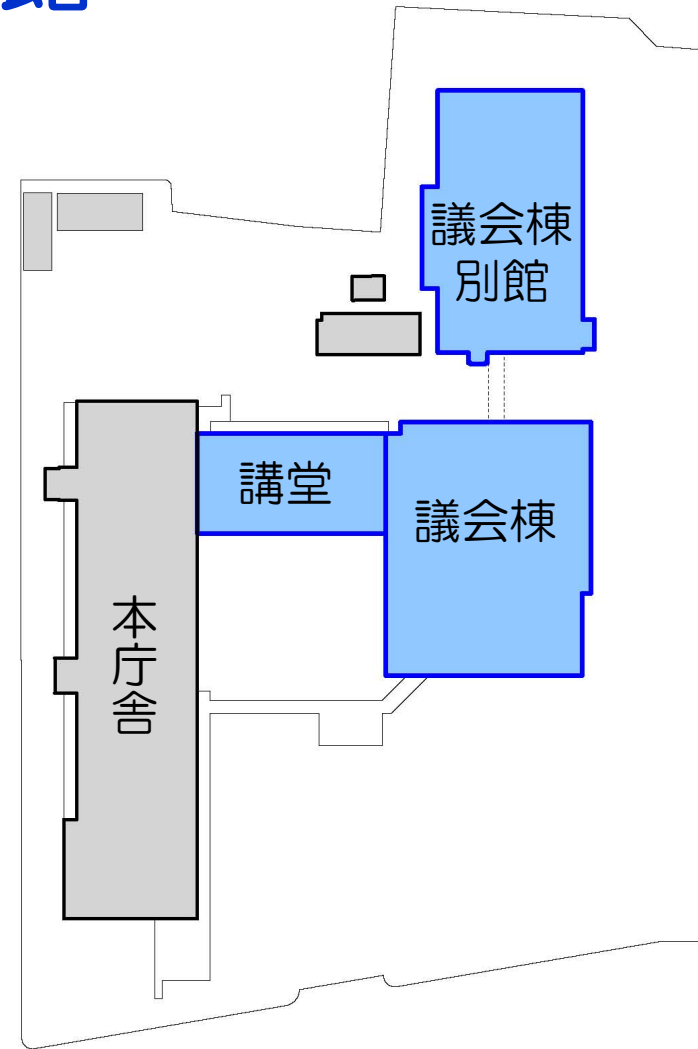


### ■ 講堂・議会棟・議会棟別館

耐震壁を増設し建物の強度を向上させます。

講堂・議会棟・議会棟別館の耐震補強に採用する耐震壁は、地震に強い筋交いを斜め格子状に組み合わせた形状で、格子のすき間部分で窓のように見通しや自然採光を確保することができます。

既存の建物の外側から柱と梁に取り付けるので建物を使用しながらの耐震補強に適した工法です。



## 工事概要

発注者：鳥取県

設計：大成建設・桂設計事務所 特定設計業務共同企業体

工事監理：鳥取県総務部営繕室

：大成建設・桂設計事務所 特定設計業務共同企業体

施工：大成建設・大和建设 特定建設工事共同企業体

- 総事業費 約25億円 (事業実施にあつては国の住宅・建築物ストック形成事業制度のモデル事業を活用します(補助率1/2))。
- 受注者の選定方法 設計施工一括提案型総合評価方式一般競争入札
- 改修方法
  - 本庁舎 ……免震化工法
  - 講堂・議会棟・議会棟別館 ……耐震補強(外部・一部内部補強)
- その他 劣化の著しい外壁、サッシなどの改修

### 【参考】

建替と改修の事業費比較

	目標使用年数 (年)	事業費 (億円)	使用年当たり事業費 (億円/年)
建替	100	150	約 1.5
改修	50	25	約 0.5



# 工程計画

